

知恵の樹

growing in OZUKA

広島市立大学
附属図書館報

第54号 2012年7月

これだけは読みたい!!先生の書棚の11冊	——	1~2	いちだい知のトライアスロン 関連事業報告	——	4
2012 前篇			いちだい知のトライアスロン イベント報告	——	5
レポート・論文作成のための文献の探し方①	——	3	わたしの一冊 / LOOK HERE!	——	6

これだけは読みたい!!

先生の書棚の11冊

2012

前篇

前期試験が終われば長い長い夏休み。ゆっくり読書に取り組むことができます。そこで今回は、先生方に学生の皆さんに是非読んでもらいたい、という図書を紹介していただきました。「一度にたくさんの作品を紹介されても読み切れない…」という方のために、2回に分けての特集です。本号では前篇として学長先生、各学部長先生がおススメする図書をご紹介します。

学長 浅田尚紀教授

『流れる星は生きている』

藤原てい著 中央公論新社 2002年 【916ページ】



昭和20年(1945年)8月9日は、アメリカが長崎に原爆を投下した日であり、ソビエト連邦が日本に侵攻した日でもある。この日の夜、危険が迫った新京(当時の満州国の首都、現在の長春)を脱出した母親(著者)が、6歳と3歳そして生後1か月の乳幼児3人を連れて日本に帰還するまでの1年余りの壮絶な体験を綴った物語である。

極度の食糧不足と劣悪な衛生環境という成人男性でも生還することが難しい悪条件の中を、3人の子供を連れて生き抜いたことは奇跡としか言いようがない。九死に一生を得て実家に戻った後、長期療養の床の中で長生きはできないと覚悟した著者が、子供達への遺書代わりに書いたのがこの本である。戦後のベストセラー作品でインターネット上には書評も多くあるので参考にして欲しい。

私の感想を付け加えるとすると、この本は読者が男性か女性かによって行間の読み方が異なると感じている。女性や母親であれば本能的生理的に共有できる感性や母性の機微を、残念ながら男性には読み切れないもどかしさが残る。この本をできれば異性の友達と読んで感想を話し合ってみると新たな発見があるかも知れない。

司馬遼太郎の本を読んで元気回復

国際学部長 二村英夫教授



『竜馬がゆく』司馬遼太郎著 文藝春秋 1998年 【913.6シバ 1-8】

『坂の上の雲』司馬遼太郎著 文藝春秋 1999年 【913.6シバ 1-8】

私が大学時代の頃、明治生まれの年配の方が周りにいて、日本の明治・大正・昭和と歩んできた雰囲気というものを直接感じる事が出来、人生体験に触れる時、随分励まされたものです。幕末の時代から明治維新、太平洋戦争、戦後の復興、グローバル化した現代に至る日本の歴史を振り返ってみることは大切なことです。司馬遼太郎の文庫本、「竜馬がゆく」(文春文庫、全8冊)、「坂の上の雲」(文春文庫、全8冊)を推薦します。まだ、封建的要素の強かった幕末の時代から日本が世界の近代化の波のなかでどのように社会を改革していったか、また、世界に伍して発展していく過程で奮闘する東洋の小さな島国の日本の姿が浮き彫りにされています。青春時代に将来明るい展望をもって駆け抜けていった幾多の先人達の生き様を体験することができます。文章が明快で、読んでいるうちに自然と元気が湧いてきます。大学時代に是非読んでおく書物として推薦いたします。



ほんまでっか？

情報科学研究科長 矢野卓雄教授

『二酸化炭素温暖化説の崩壊』

広瀬隆著 集英社 2010年 【451.35ヒロ】

コンセントに差し込めば電気がいくらでも自由に使える。蛇口を捻れば飲み水がジャージャー出てくる。スーパーに行けば食料が何でも十分手に入る…… 当然のこと？

電気エネルギー無くして成り立たない現代社会。昨年発生した福島第一原子力発電所事故以来、原発について、また節電についてみんなが考えるようになったことは、実にすばらしいことである。我々はエネルギーをジャンジャン使い、化石燃料をどんどん燃やし、二酸化炭素を大気中へどんどん放出している。その結果、地球は温暖化し、様々な問題が発生している。

ほんまでっか？

本書を読み、両者の意見を理解して自分の考えをまとめてほしい。「鵜呑み」は窒息死のもと。

生きることの崇高さを教えてくれる珠玉の一冊

芸術学部長 前川義春教授



『ガウディの伝言』

外尾悦郎著 光文社 2006年 【523.36ガウ】

天才建築家、アントニオ・ガウディに関する本は色々出版されていますが、先ず最初に読む本として親しみやすく、興味深い内容となっている一冊です。

その最も大きい理由は、著者である外尾悦郎氏自身がサクラダファミリアの制作に直接携わる彫刻家であるためでしょう。京都市立芸術大学彫刻科を卒業後、現在まで30年以上に渡り専任彫刻家として働き続けている氏が、制作者の目を通して史実に忠実にガウディを語っています。

天才としての苦悩、悲恋、ライバル、そしてパトロンでもある大富豪グエルとはともに夢を託しあう信頼関係で結ばれる。最後はキリスト教の精神が見ようとした崇高な世界に導かれながらも、非業の死を遂げる。学生時代に読めば他人事とは思えない最高に面白い小説の様な本当の物語です。現在まで130年以上も続けられている建設に、今では世界中から日々万人以上の人々が訪れ、その巨大で異様な造形が世界の人々に夢と希望を与えています。

先生のおススメ本は、図書館3階トリアスロンコーナーにあります。【 】内は請求記号です。

CiNii が新しくなりました!!

これまで論文検索ツールとして紹介していた「CiNii(サイニィ)」が
大学図書館の本をさがす「CiNii Books」と日本の論文をさがす「CiNii Articles」に変わりました。

検索画面

CiNii Books [サイニィ ブックス]とは？

国立情報学研究所が提供する、全国の大学
図書館等が所蔵する本（図書や雑誌等）の
情報を検索できるサービスです。

探している資料が、全国のどの大学図書館
等にあるかが分かります。

さらに!!

検索結果の件数が多い時は、
特定の地域や都道府県に
絞り込むことができます。

検索結果画面

市大で所蔵している資料は
一番先頭に表示されます。

CiNii Articles [サイニィ アーティクルズ]とは？

これまで CiNii で提供されていた雑誌論文
検索は「CiNii Articles」としてデザインの
一部がリニューアルされました。

CiNii の利用は、
図書館 Web サイトから!!

<http://www2.lib.hiroshima-cu.ac.jp>



ブックハンティング

6月30日(土)、紀伊國屋書店広島店(アクア広島センター街6階)で『いちだいブックハンティング』を開催しました。初めに本を選ぶ基準などの説明を受けた後、選んだ本のバーコードを読み取る機械を手に、1時間のハンティングを開始!一斉にフロアに散って、自分の欲しい本を探し回っていました。



参加された学生さんからの感想は、「読みたい本がたくさん見つかった!」「図書館とはまた違うワクワク感が半端なかったです!」「ぜひまた参加したいです!」など、大好評でした♪

今回学生さん達が選んだ本は準備が整い次第、館内展示コーナーで紹介する予定です。

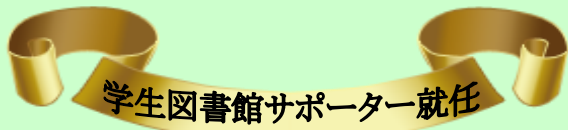
また後期にもブックハンティングを開催する予定ですので、お見逃しなく!

学生図書館サポーター

今年度より図書館では、図書館で実施する企画・広報などに協力してくれる学生図書館サポーターを募集しています。

今年度のメンバーは左から

大司さん、中広さん、時任さんです。



3人とも「本が好きなので、図書館の展示やいろいろなことにチャレンジしてみたいです!」と意気込みを語ってくれました。

早速、図書館入口横の展示コーナーをお任せすることにしました。どのような展示になるのかとても楽しみです♪

* 随時募集していますので、興味のある方は図書館担当者まで! *

平成 23 年度コメント大賞表彰式

4月24日(火)、図書館3階で『いちだい知のトライアスロン 平成23年度コメント大賞表彰式』を開催しました。受賞したみなさん、おめでとうございます!

表彰式の様子などは「いちだい知のトライアスロン」のWebサイトにも掲載していますので、こちらをご覧ください。

<http://triathlon.hiroshima-cu.ac.jp/>

〈コメント大賞〉 国際学部 尾崎満里奈さん
 図書: 「井上成美」【913.67が】
 「永遠の0(ゼロ)」【913.6ヒヤ】
 「動物農場」【933 杓】

〈入賞: 図書部門〉

国際学部 来田卓哉さん「天才の栄光と挫折 数学者列伝」【410.28フツ】
 情報科学部 阿部貴輝さん「世界で一番美しい元素図鑑」【431.11ゲル】
 情報科学部 竹内綾子さん「フェルマーの最終定理」【412.2シツ】
 情報科学部 平野和真さん「お金でなく、人のご縁ででっかく生きろ!」【159 枵】

〈入賞: 映画部門〉

情報科学部 紀藤匠さん「コマンドー」

〈入賞: 美術展部門〉

情報科学部 山崎圭さん「広島市立大学芸術資料館 新収蔵作品展」



表彰式の後には景品を選びました。

出張講座 @ 広島県立美術館 -特別展「平清盛」-

5月26日(土)、広島県立美術館で特別展「平清盛」に関連する出張講座を開催しました。県立美術館での出張講座、しかも午前中の開催は初めてで、どのくらいお客さんが来てくださるのか、スタッフ一同ドキドキしていたのですが、なんと、80名の皆さんにご参加いただきました。

まず、国際学部の城市先生に『平清盛展鑑賞のツボ 平家納経を中心に』と題して、平清盛と厳島神社の不思議な縁や、平家納経に込められた平家一門の深い願いなどについて講演していただきました。次いで県立美術館学芸員の宮本さんから、展示の順に沿って解説をしていただきました。『「驕(おご)れる平家は久しからず」と言われるように、平家を驕りによって滅亡させた人物として描かれることの多い平清盛ですが、時空を超えて今、新しい清盛像を見せてくれる』という言葉が印象的でした。



<参加者の声>

- ・講演の前に一度展示を観ていたのですが、説明を聴いてからもう一度観ると、また違った見方ができてとてもよかったです。二度見ることで理解も深まりました。
- ・経巻の各部の名称や専門用語をとってもわかりやすく説明していただいたので、展示を観る時にとても参考になりました。
- ・葦手(風景の中に隠し文字のように書かれる書体)の説明に興味をひかれました。まるで、現在のマンガの吹き出しのルーツのようで、日本のアニメ・漫画文化の萌芽を感じました。

★特別展の図録もあります。

「平清盛：2012年NHK大河ドラマ50年特別展」

NHK, NHKプロモーション編 NHKプロモーション 2012年 【図書館3階 702.13 タイ】

出張講座 @ 広島市映像文化ライブラリー -「純愛物語」-

6月23日(土)、広島市映像文化ライブラリーとの連携事業で、映画に関する講演と映画「純愛物語」(今井正監督 1957年公開)の上映会を開催しました。約90名の皆さんにご参加いただきました。

まず、国際学部の柿木先生に、『「純愛」が照らし出す原爆の傷』という演題で講演していただきました。この映画は、東京を舞台に原爆症の少女と少年の「純愛」を描いた作品ですが、今井監督の作風であるヒューマニズム(人間愛)とリアリズムが結実した作品であること、いち早く内部被曝の問題を取り上げていること、水木洋子による脚本が、当時の原爆症に対する医療側の対応や人々の反応を緻密に描いていることなどを、興味深うかがいました。また、この映画で描かれていることは、放射能の脅威に曝されている現在の私たちの「未来のない未来」のようでもある、という先生の言葉が強く印象に残りました。

講演後の映画では、必死に前を向いて生きていこうとする主人公たちの姿が鮮烈でした。主人公の若さや一途さに光が当てられたことで、「原爆の傷」がもたらす悲しい結末に、より痛ましさを感じました。

<参加者の声>

- ・まさに「純愛」の物語だと思います！人物や社会状況が丁寧に描かれていて見ごたえがありました。
- ・集団検診に来ていた親子連れが、主人公の側を通り過ぎていくラストシーンでは、その家族の未来の悲劇を予感させ、心が重くなりました。
- ・「赤」がとても効果的に使われていて、初期の「総天然色」の作品の新鮮さを感じました。



★柿木先生の講演の映像は、トライアスロン Web サイト(学内限定)で公開されています。

★図書館では、今井監督の次の作品も所蔵しています。是非ご覧ください。

映画 「ひめゆりの塔」今井正監督 【DVD】

わたしの一冊

情報科学研究科 難波 英嗣 准教授

『日本語入力を支える技術：変わり続けるコンピュータと言葉の世界』

徳永拓之著 技術評論社 2012年

携帯電話やパソコンでメールを書く時、インターネットで調べ物をする時、ワープロソフトを使ってレポートを書く時、今日の私達はあたりまえのように、日本語の文字を入力・変換するという作業を行っている。予測変換の便利さ、誤変換のストレス、いずれも私達に身近な存在である。本書はこのような日本語入力システムの最新技術を読者に案内する一冊である。

日本語入力システムは40年以上にわたって開発が行われてきた。代表的な日本語入力システムのひとつであるATOKの開発秘話を綴った篠原一『電脳日本語論』（作品社、2003年）や、『プロジェクトX 挑戦者達：運命の最終テスト～ワープロ・日本語に挑んだ若者たち～』（DVD；NHKソフトウェア、2003年）などからは、黎明期の開発者たちの苦労や葛藤をうかがい知ることができる。

本書の第1章、第2章、第6章では、日本語入力システムの歴史や概観、今後の展開について触れられており、情報科学を専門としない読者にもわかりやすい内容となっている。第3章から第5章にかけては、辞書データの構造や、かな漢字変換アルゴリズムを、サンプルプログラムを使って解説している。

近年ではGoogleやBaiduといったWeb検索エンジンの企業が新しい日本語入力システムを相次いでリリースしているほか、大学における自然言語処理研究でも、今なお日本語入力システムは重要な研究課題のひとつとして位置づけられている。情報科学部3年生以上でも難しいと思われる記述もあるが、コンピュータと日本語のかかわりに興味のあるひとには是非読んでもらいたい。

『日本語入力を支える技術：変わり続けるコンピュータと言葉の世界』【図書館3階 007.63トク】

『電脳日本語論』【図書館3階 007.63シノ】

『プロジェクトX 挑戦者達：運命の最終テスト～ワープロ・日本語に挑んだ若者たち～』【図書館3階 V210プロ】



※【 】内は配架場所と請求記号です。

LOOK HERE!!

● 臨時休館のお知らせ

以下の日程で臨時に休館します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

- 8月15日(水) *省エネルギーのための全学休業。
- 8月22日(水)～8月24日(金) *附属図書館の施設改修を行うため。



● 開館時間の変更について

定期試験前後、夏休み中は開館時間が変わります。ご注意ください。

詳しくは、Webサイトの図書館カレンダーでご確認ください。

区分	変更となる期間	開館時間
延長開館期間	7月12日(木)～8月3日(金)	8:45～20:00
夏季休業期間	8月8日(水)～9月28日(金)	8:45～17:00

● 夏季休業期間中の特別貸出について

夏季休業に伴い、7月25日(水)から、図書の出借期間を延長します(雑誌は除く)。

区分	特別貸出期間	返却期限
学部生	7月25日(水)～9月26日(水)	10月11日(木)
大学院生	7月25日(水)～9月10日(月)	10月11日(木)

編集後記

最近、本の予約をただで借りに来ない学生さんがいらっしゃいます。皆さん、1年生の時に発行された大学のメールアドレスは使っていますか？図書館のカウンターやOPACで本の予約をして、自分の借りる順番が回ってきたら「あなたの順番になりましたよ」と大学のメールアドレス宛にメールが送信されます。本の予約をした時は、メールチェックをこまめにしてくださいね。

2012年7月13日発行
 広島市立大学附属図書館
 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
 TEL : (082) 830-1508
 FAX : (082) 830-1659
 E-mail tosho@lib.hiroshima-cu.ac.jp
 http://www2.lib.hiroshima-cu.ac.jp